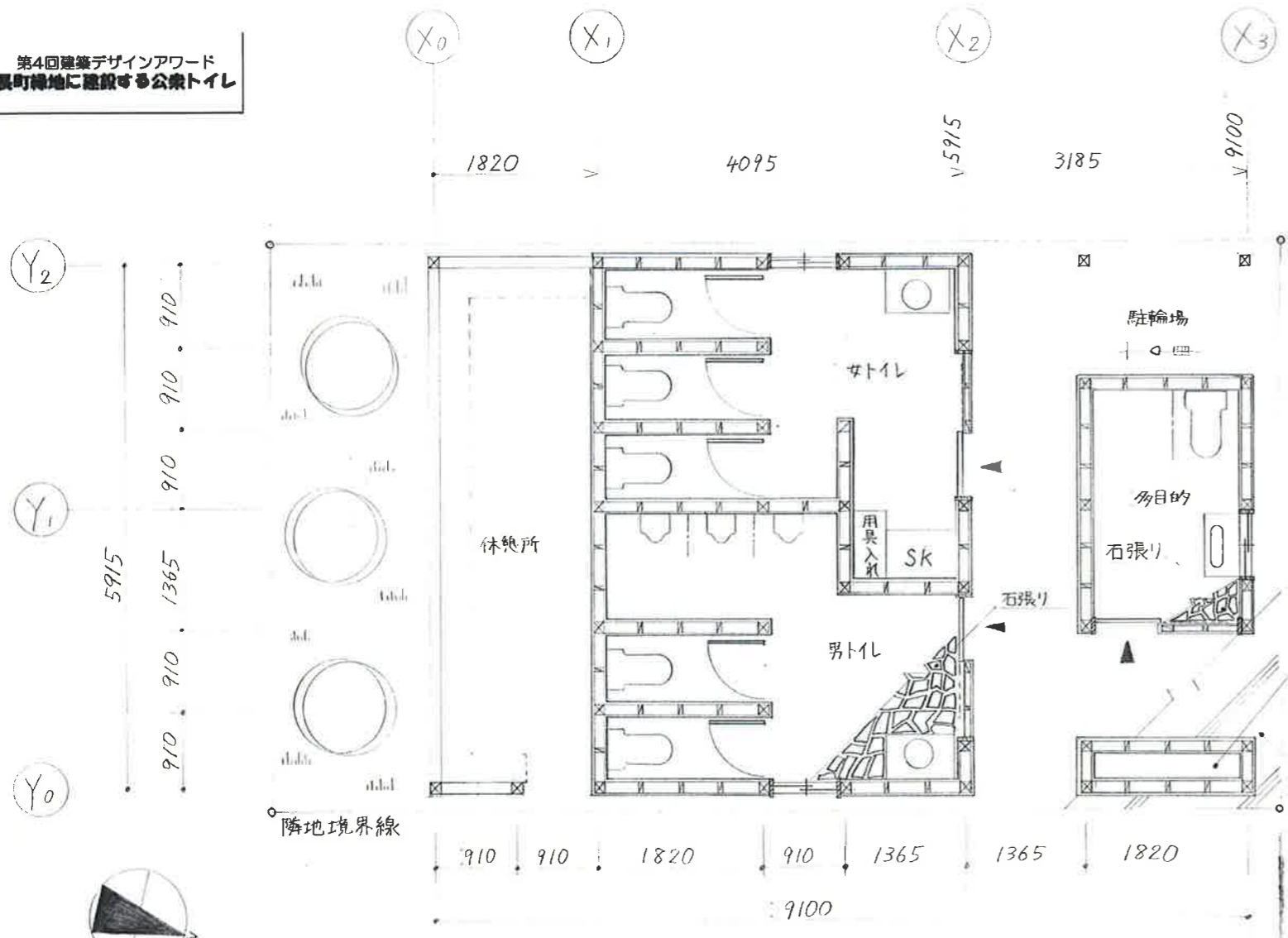


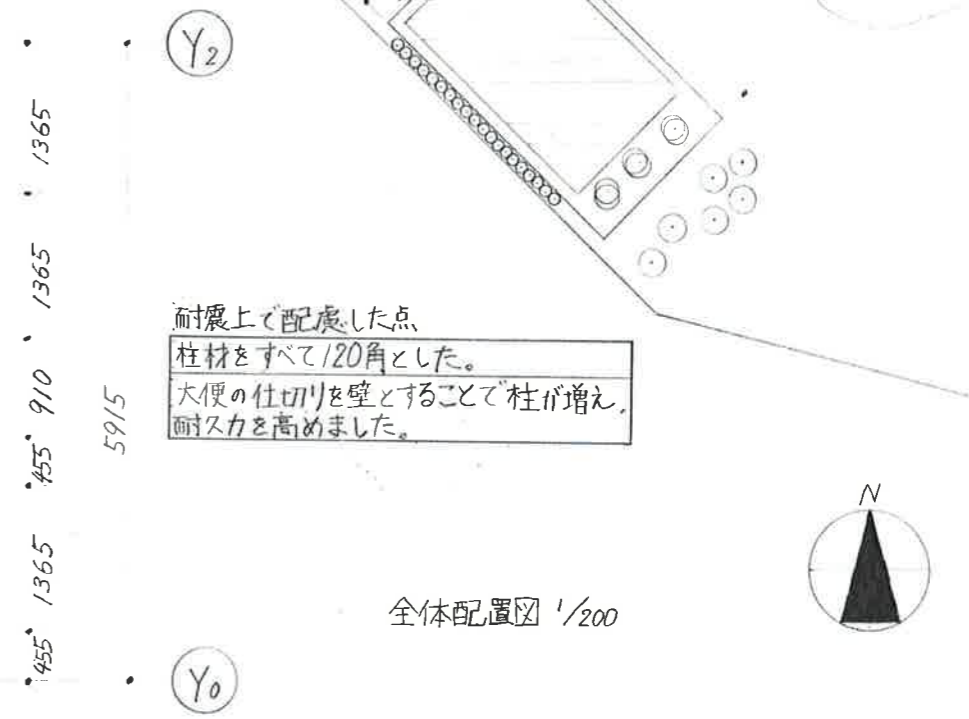
第4回建築デザインアワード
長町緑地に建設する公衆トイレ



観光バスの休憩所として使われる可能性も高いので、出入口を3ヶ所に設け、効率性を高めました。

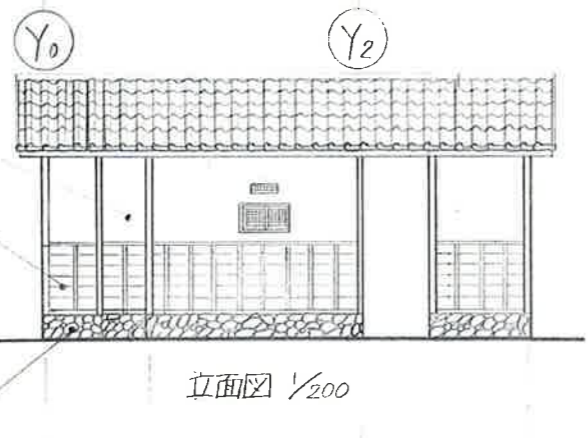
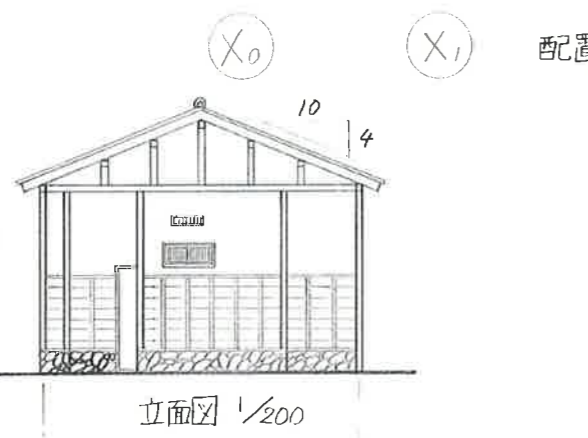
目隠し壁を設け、最低限のプライバシーを確保するとともに、和を強調させました。

耐震上で配慮した点
柱材をすべて120角とした。
大便の仕切りを壁とすることで柱が増え、耐久力を高めました。



全体配置図 1/200

外観だけでなく、内観も床は石張り、壁は土壁、真壁とし、柱の木を見えるようにしました。その他、手洗場の台は木で作リ、開口部には障子をつけ、和のイメージを強くしました。



面積表

敷地面積	6.4 × 11.4	72.96㎡
建築面積	6.315 × 9.1	57.47㎡
柱へ床面積	6.315 × 9.1	57.47㎡
容積率	57.47 ÷ 72.96 × 100	78.77%
建ぺい率	57.47 ÷ 72.96 × 100	78.77%

コンセプト
和あふれる落ちつきのあるトイレというのを第一に考えました。床はトイレは足を落くことのできる休憩の場でもあると考えています。トイレの中があえて暗めの空間とするために開口部を少なくしました。中に取りつける照明も、暖色の照明を用い、落ちついた空間としました。大便をしている時に雑音などが聞こえると落ちついてトイレができないという人も多いと見えます。それを解消するために大便の仕切りを壁にし、上のすき間をなくすることで、落ちついて、トイレができるようにしました。外観は和あふれる木・土・石を組み合わせ、和のイメージを強調させました。

